

《Lesson 2》 接続詞

今回学ぶのは「接続詞」についてです。

接続詞とは、**and** のように「単語と単語」や「文と文」をつなげる単語

です。今回は、以下の2点について学習していきます。

=====

【今回の学習内容】

- (1) 接続詞が使われる際の**基本の形**を学ぶ
- (2) 「～だが～」「～なので～」「～なぜなら～」といった**6つの接続詞**を学ぶ

=====

【接続詞が使われる基本の形】

文1 + *(,) + 接続詞 + 文2

*接続詞によってカンマ(,)が入る場合、入らない場合がある。

【今回学ぶ接続詞】

(1) and = そして / ～で

文1, and 文2 → 文1 **そして** 文2 <通常 **and** の前にカンマ(,)を打つ>

<例>

She likes soccer, **and** I like baseball. <彼女はサッカーが好きです。**そして**、私は野球が好きです>

I am 10 years old, **and** he is 15 years old. <私は10歳**で**、彼は15歳です>

and は「文と文」だけでなく「**単語と単語**」「**フレーズとフレーズ**」をつなげることもできる。この際、カンマ(,)は不要。

【単語と単語をつなぐ形:例】

I like soccer **and** baseball. <私はサッカーと野球が好きです>

【フレーズとフレーズをつなぐ形:例】

He plays the piano **and** likes American music. <彼はピアノを弾き、アメリカの音楽が好きです>

I need to *eat breakfast **and** *leave here at 8:00. <私は朝食を食べ、ここを8時に出発する必要があります>

* need to eat breakfast と need to leave here at 8:00 という意味になる

(2) but = ~だが / しかし / けれど

文 1, but 文 2 → 文 1 だが 文 2 <通常 but の前にカンマ(,)を打つ>

<例> I am tired, but I need to work today. <私は疲れています**が**、私は今日働く必要があります>
He has a computer, but it is very old. <彼はパソコンを持っています。**しかし**、とても古いです>

but で文と文をつなぐ場合、「前の文」と「後の文」で**主語や be 動詞などが同じ**場合、
後の文で共通する部分を省略することができる。

<例>
She is smart, but **doesn't** like to study. <彼女は賢いですが、勉強するのは好きではありません>
(2 文目で、**主語 she が省略されている**)

I am a teacher, but **not** an English teacher. <私は先生です。**しかし**、英語の先生ではありません>
(2 文目で、**主語 I と be 動詞 が省略されている**)

(3) because = なぜなら

文 1 because 文 2 → 文 1 なぜなら 文 2 <カンマ(,)は不要>

<例> She wants to come to Japan **because** she likes Japanese culture.
<彼女は日本に来たいと思っています。**なぜなら**、彼女は日本の文化が好きだからです>
He eats this every day **because** he likes it.
<彼は毎日これを食べます。**なぜなら**、彼はそれが好きだからです>

(4) so = だから / ~ので

文 1, so 文 2 → 文 1 だから 文 2 <通常 so の前にカンマ(,)を打つ>

<例> She needs money, **so** she works every day. <彼女はお金が必要です。**だから**、彼女は毎日働きます>
I don't like fish, **so** I don't eat *sushi. (*sushi = お寿司)
<私は魚が好きではない**ので**、私はお寿司を食べません>

=====

【ポイント！】

but / so / because といった接続詞で文章を始めるケースがよく見られますが、あれは**エッセイなどのライティング(書き英語)では、あまり使われない形**です。「間違い」と考えるネイティブも多くいます。ただし、「会話文」や「質問の答え」などでは使われるケースもあります。

<例> I am tired. **But** I need to work today. =△ He eats this every day. **Because** he likes it. =△

=====

(5) before = ~の前に

文 1 before 文 2 → 文 2 の前に 文 1 <日本語に訳す際、文 1 と文 2 が入れ替わるので注意>

<例> She wants to finish her homework **before** she goes home.

<彼女は家に帰る**前に**、彼女は宿題を終わらせたいと思っています>

Does he run **before** he eats breakfast? <彼は朝食を食べる**前**に走るのですか>

before は『前置詞』としても使うこともできるため「before + 文」でなく「**before + 語句**」も可能。

<例>

He wants to finish this **before** dinner. <彼は夕飯の**前**に、これを終わらせたいと思っています>

I need to leave here **before** six o'clock. <私は 6 時**前**にここを出発する必要があります>

(6) after = ~の後で / ~の後に

文 1 after 文 2 → 文 2 の後で 文 1 <日本語に訳す際、文 1 と文 2 が入れ替わるので注意>

<例> She wants to start this **after** she finishes her homework.

<彼女は宿題を終わらせた**後で**、これを始めたいと思っています>

Does she eat breakfast **after** her son goes to school?

<彼女の息子が学校に行った**後で**、彼女は朝食を食べるのですか>

after は『前置詞』としても使うこともできるため「after + 文」でなく「**after + 語句**」も可能。

<例>

He wants to finish this **after** lunch. <彼は昼食**後**に、これを終わらせたいと思っています>

I need to talk with him **after** this class. <私は、この授業の**後**に彼と話す必要があります>
